

# 令和 5年度予算見積調書

課室名：生産振興課  
 担当名：花き・果樹・特産・水産担当  
 内線：4146 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P76	茶業研究所試験研究費			一般会計	農林水産業費	蚕糸特産及び	蚕糸特産研究費	茶業研究所費	
事業期間	昭和22年度～	根拠法令	なし			針路	12 儲かる農林業の推進	SDGsゴール	2, 17
						分野施策	1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsターゲット	2-1, 2-2, 2-3, 2-5
1 事業概要 埼玉農業の競争力を強化するため、栽培管理技術の開発や、新品種の育成などの試験研究を実施する。				5 事業説明					
(1) 環境変化に対応した技術の開発 2,390千円				(1) 事業内容					
(2) 埼玉ブランドとなる品種の育成と普及 5,161千円				ア 環境変化に対応した技術の開発 2,390千円					
(3) 省力、低コスト、高品質生産技術の開発 967千円				イ 埼玉ブランドとなる品種の育成・普及 5,161千円					
(4) 地域の特性を生かした技術開発と指導 5,872千円				ウ 省力、低コスト、高品質生産技術の開発 967千円					
				エ 地域の特性を生かした技術開発と指導 5,872千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(2) 事業計画 (目標、達成水準、今後の計画等)					
				ア 環境変化に対応した技術の開発 2課題(うち新規0)					
				イ 埼玉ブランドとなる品種の育成・普及 2課題(うち新規0)					
				ウ 省力、低コスト、高品質生産技術の開発 1課題(うち新規0)					
				エ 地域の特性を生かした技術開発と指導 4課題(うち新規0)					
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果 本県ブランド「狭山茶」に係る戦略的な試験研究が遂行され、多様化するニーズに対応した生産技術が茶業者並びに産地に提供され、本県茶産業が発展する。					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員人件費 9,500千円×13人=123,500千円				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 独立行政法人等(農研機構等)、都道府県、大学、民間企業や農業者と共同して国庫資金等を活用して研究開発を実施する。また、農業関係団体、民間企業や農業者から委託を受け、問題解決のための試験研究を行う。					
				(5) その他 【予算項目別対応研究所】 茶業研究所					
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
		財産収入	諸収入						
決定額	14,390	4,060	5,900					4,430	2,577
前年額	11,813	4,060	4,700					3,053	

## 事業内訳書

事業名	茶業研究所試験研究費			
単位事業名	環境変化に対応した技術の開発	予算額	2,390千円	

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	54	△10	県内旅費(現地調査) 200円×20人日 県内旅費(県庁) 2,480円×4人日 県外旅費(つくば) 5,000円×8人日
需用費	2,284	603	試験研究消耗品費 1,081千円 製茶機械等燃料費 333千円 電気代 312千円 農機・研究機器修繕料 558千円
役務費	52	0	機器点検 52千円
合計	2,390	593	

単位事業名	埼玉ブランドとなる品種の育成と普及	予算額	5,161千円	
-------	-------------------	-----	---------	--

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	249	35	県内旅費(現地調査) 200円×10人日 県内旅費(県庁) 2,480円×5人日 県外旅費(佐賀県・研究発表2泊) 87千円×1人日 県外旅費(静岡県島田市) 33千円×1人日 県外旅費(鹿児島県茶業センター・栽培指導2泊) 114千円×1人

単位事業名	埼玉ブランドとなる品種の育成と普及	予算額	5,161千円
-------	-------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	3,773	578	試験研究消耗品費 1,800千円 製茶機械等燃料費 456千円 電気代 836千円 農機・研究機器修繕料 681千円
役務費	203	12	切手 82円×440枚 電話代 10円×400回 農薬残留分析、点検 162千円
備品購入費	936	286	コンプレッサー/ドライヤー 935,660円×1台
合計	5,161	911	

単位事業名	省力、低コスト、高品質生産技術開発	予算額	967千円
-------	-------------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	45	△112	県内旅費(現地調査) 200円×10人日 県内旅費(県庁) 2,480円×2人日 県外旅費(つくば) 5千円×1人日 宿泊旅費(静岡県島田市) 33千円×1人日

単位事業名	省力、低コスト、高品質生産技術開発	予算額	967千円
-------	-------------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	844	△651	試験研究消耗品費 412千円 製茶機械等燃料費 93千円 電気代 95千円 農機・研究機器修繕料 244千円
役務費	78	0	廃液処理 77,800円
合計	967	△763	

単位事業名	地域の特性を生かした技術開発と指導	予算額	5,872千円
-------	-------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	499	109	県内旅費(現地調査) 200円×95人日 県内旅行(県庁) 2,480円×21人日 県外旅行(つくば) 5千円×2人日 県外旅行(東京) 2,300円×3人日 県外旅行(果茶研) 17千円×3人日 宿泊旅行(静岡県島田市) 33千円×3人日 宿泊旅行(佐賀県・研究発表2泊) 87千円×3人日
需用費	5,022	1,722	試験研究消耗品費 2,640千円 製茶機械等燃料費 1,031千円

単位事業名	地域の特性を生かした技術開発と指導	予算額	5,872千円
-------	-------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
			電気代 431千円 農機・研究機器修繕料 920千円
役務費	351	5	残留試験用切手 84円×488枚 残留試験電話代 10円×700回 実用化試験用切手 84円×195枚 実用化試験用電話代 10円×100回 気象観測装置メンテナンス 185千円 機械点検 100千円
合計	5,872	1,836	